

# 第50回全国中学校ハンドボール大会

## 試合結果・戦評報告

競技日	令和3年8月24日(火)	試合番号	C10	回戦	男子三回戦
種別	中学生	会場	浦和駒場体育館		

Aチーム			Bチーム		
成田（宮城）			東久留米西（東京）		
得点合計	小計		小計	得点合計	
23	10	前半	18	36	
	13	後半	18		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7 m T C			

### 戦評

男子三回戦。今日の二回戦を勝ち上がり、2試合目となる両チームの対戦は、成田のスローオフで開始された。両チームともシュートまではいくが互いのキーパーが好セーブを連発する。東久留米西が、サイドのループシュート先制点を挙げる。成田はすぐに同点とするが、東久留米西も速いリスタートから得点をあげる。序盤から、両チームともにスピーディーな攻撃とアグレッシブな守備により、緊張感のある、引き締まったゲームが展開された。時間がたつにつれ少しずつ東久留米西が試合を優位に展開し始め、9分58秒5点差となったところで成田が最初のタイムアウト。タイムアウト明けに1点を返すも、流れを引き戻すまではいかない。成田は、セットからのロングシュート、ミドルシュートで得点するも、東久留米西は、ポストシュート、サイドシュートで得点を重ねていく。東久留米西優位のまま、前半は、18対10で終了した。

後半開始早々、東久留米西が3連続得点、成田がペナルティーシュートなどで追いつくが、速いボール回しからの攻撃を守り切れずに失点を重ねていく。さらに成田のシュートに対し、東久留米西のゴールキーパーが好セーブを連発し、15分には、15点差とした。成田は、最後まで試合を諦めず果敢に得点を狙って攻め続け、得点差を詰めたが、36対23で東久留米西が、ベスト4。明日の準決勝に駒を進めた。

記載者名

矢島英之